

1 単元（教材） 「校庭にある『お手植えの桜』」

2 目標

学年テーマ「校庭にある『お手植えの桜の木』」をもとに、自分で課題を見つけ、その課題にねばり強く取り組み、主体的に課題を解決しようとする事ができる。

課題解決的な学習の過程で、自分が調べたことや提案したいことを自信をもって発表することができ、他者の意見にも耳を傾け、自分の学習に取り入れたり、他者へのアドバイスをしたりすることができる。

地域での地域体験学習や、課題を追求していく過程のいろいろな経験・出会いの中で、その人の生き方や考え方に触れ、自分の生き方や将来について考えることができる。

3 単元について

(1) 児童の実態..... 本学級は、男子18名、女子17名、計35名の学級である。年度当初のオリエンテーションで、本校の昨年の学習内容と今年度の学習内容の構想について説明した。多くの児童が、「『お手植えの桜の』」をテーマに、総合やりましょう」と言ってくるなど意欲的な態度が見られた。その一方で、6学年の総合（「一人調べ」）は大変だという感触を多くの児童がもっていた。しかし、次時の学習で、自己課題の設定までの取組の例や1年間の見通しを話すと、「楽しく充実した学習ができるように自分のテーマをしっかりと決めたい」や「早く自分のテーマを決めて調べ学習をはじめたい」などの感想が聞け、1年間の見通しをもってイメージをつかめているようである。

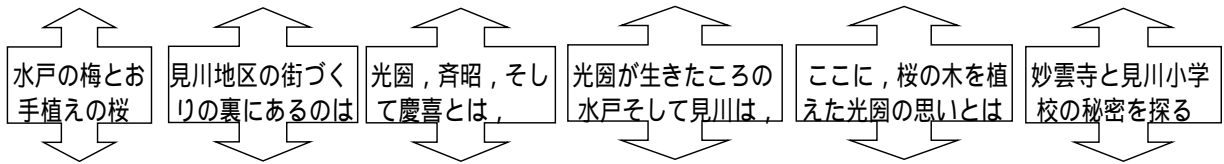
(2) 教材観..... 6年生を担任となった時には、本年度は、「校庭にある『お手植えの桜』」を学級（学年）の学習テーマ（共通の学習課題）とし、学習活動を展開したいと考えていた。この義公（徳川光圀）お手植えの桜は、明治8年（1873年）見川小学校は、今も西隣に建つ「妙雲寺」の境内を借りて創立した。その妙雲寺の境内に水戸光圀は「しだれ桜」を植えた。その桜の古木は、今でも見川小学校の校庭で春には美しい花を咲かせている。この古木は、見川小の児童、そして見川の人々の心のオワシスであり、誇りとなっていて、生きる勇気を与えてくれる存在になっているのではないだろうか。

「校庭にある『お手植えの桜』」をフィルターとすることで児童の興味・関心が見川学区の歴史や環境問題、さらには地元商店街の願い、地域に生きる人々の思い、生きざまなどに広がるのではないだろうか。そして、子ども一人一人が自分の生活に根ざした学習課題を掘み、調べ、考え、自分なりに問題解決できるようになるのではないだろうか。さらに、自分なりに学んだことを地域や多くの人々に発信することを期待している。また、研究の検証活動として、そして学習の地域還元活動として、自ら地域に出かけて行き、実際にお店や事業所などでできそうな事をお手伝いすることによって、実際の社会の中から自分の研究を考える絶好の機会となり、自分も地域社会の一人前の一員であるという自覚を持つことにも繋がるであろう。

(3) 指導観..... 『一人調べ』を通して、個人が主体的に学習活動を展開し、「学ぶ楽しさ・知る楽しさ」「人との関わりで得るもの」「できた自分・がんばった自分」を実感させることを目的としている。そして、ここで得たものが、今後の生き方や考え方、学習意欲、様々な場面での積極性などにつながっていくと考える。そこで、児童一人一人の学習経過を把握し、指導・支援することが重要であると考え、児童の学習の足跡を見取るために、『振り返りカード』『学習状況カード』で経過を観察していく。また、『振り返りカード』は積み重ねて掲示し、先生からのアドバイスと共に児童もコメントを入れてお互いに認めあえるようにしたい。そして、調べる際には、書籍やインターネットを用いた調べ学習とともに、自分の足で、目で、耳で、口で『一人調べ』を進められるように指導・支援していきたい。

4 単元の指導計画（70時間計画）

4月	オリエンテーション...総合的な学習の時間のねらいを確認し、主体的な学習のために個人テーマの設定が重要であることを知る。
4月	学級・学年の学習テーマ（共通の学習課題）の検討 昨年の6年生の学習テーマ「福祉」を知り、今年度の学級・学年の学習テーマをみんなで話し合い、決定する。「校庭にある『お手植えの桜』」
5月	光圀の幼少期の話を聞いたり、また妙雲寺に行き、住職さんのお話を聞いたりして、学年テーマをもとに『一人調べ』の個人テーマを決めよう。
6月	個人テーマが決まったら『基調提案検討方式による話し合い活動』で友だちや先生にアドバイスをもらい、よりよいテーマに練り直そう ~ 【本時5/22】



自分の課題についての事実を調べてこよう。 ~

課題解決のための『一人調べ』を進めよう。 20 ~ 30

7月 アポの取り方・電話のかけ方を身につけて、地域体験学習の事前打ち合わせをしよう。 31

夏休み 『自分の学習物語』～1学期編～をまとめよう。 32 ~ 33

9月 学習物語で振り返ったことをもとに『一人調べ』を進め、地域体験学習の準備・事前調査をしよう。(夏休み中の活動を支援するために4~5日相談日を設ける。)

『一人調べ』してきたことをもとに、地域体験学習で実際の体験やインタビューをして調査しよう。 34 ~ 39

1月 みんなから検討してもらったことをもとに調べ直しや追求活動をして、今年のまとめをしよう。 56 ~ 62

2月 分かったことを広めたり、自分ができることを実践したりしよう。

3月 1年間の総合的な学習の時間を振り返り、学習物語を完成させよう。 63 ~ 67

手紙の書き方を身につけて、地域体験学習の事業所にお礼の手紙を書こう。 68 ~ 70

5 本時の学習

(1) 目標

自分で決めた『一人調べ』のテーマとテーマ設定の理由、調べる方法を『基調提案検討方式による話し合い』で発表し、検討してもらい、提案者は自分のテーマをしっかりと自分のものとしてとらえると同時にもう一度練り直すことができる。


提案者以外の児童は話し合いを通して、同じような視点で自分のテーマを練り直すきっかけとすることができる。

(2) 準備・資料

- ・ 総合的な学習ファイル
- ・ 『振り返りカード』
- ・ 発表資料

(3) 展開

評価規準に対しておおむね達成の児童への支援内容 努力を要する児童への支援内容

学習活動・内容	指導上の留意点・評価				
<p>1 前回の話し合いについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回、基調提案をした児童がみんなで話し合いをした感想と自分の考えがどのように変わったかを発表する。 <p>2 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Kくんが妙雲寺に行く前と、行ってきてからの思い、考えを発表してもらい、個人のテーマとテーマ設定の理由をどう考えれば、いいのか、再検討してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Kくんが妙雲寺に行く前と、行ってきてからの思い、考えを発表を聞く。 ・ 発表を聞き、みんなの考えたこと、疑問点、新たな発見などについて話し合い。 ・ 話し合いから考えたことをワークシートにまとめる。 ・ 考えたことを発表し、検討する。 <p>3 Sさんの『一人調べ』のテーマとテーマ設定の理由、調べる方法をみんなで検討する。</p> <p>【Sさんのテーマ…「武田耕雲齋の秘密」】</p> <p>【予想される質問】</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 150px; text-align: center;"> <p>武田耕雲齋についてどんなことを調べるの</p> </div> <div style="margin: 0 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 150px; text-align: center;"> <p>武田耕雲齋について知っていることは、なぜ、知ったの</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p>調べ、まとめただけで終わりにするの 今の時点で考えていることはどんなこと</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表者は自分のテーマとテーマ設定の理由について発表し、他の意見を聞きながら、自分のテーマや調べる方法、自分の考えを深める。 ・ 発表者以外は友だちのテーマやテーマ設定の理由について検討しながら、自分のテーマを見直し、テーマ設定の理由をより具現化していく。 <p>4 本時の学習について振り返り、次時の学習の見通しをたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の話合いで自分なりに考えたことや、今後の自分の『一人調べ』のテーマの検討事項などを「振り返りカード」に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の発表者の意見・感想を聞き、前回の発表者はみんなで検討したことにより、本人の考えがどのような過程で深まっていったのかを振り返り、本時の意欲づけとなるようにする。 ・ 自分で決めた、または決めつつあるテーマ、そしてテーマ設定の理由を自分のものとするように、Kくんの思い、考えを聞くことで吟味し直すきっかけとなるように助言する。 ・ 生徒一人一人は、発表者が『基調提案』したテーマを、これまでの経験や小学校での総合的な学習などで身につけた知識を生かしながら、よりよいものにするためのアドバイザー的役割であることを知らせる。 ・ 発表者にはテーマだけでなく、どうしてそのテーマになったのか、どうしてそこにこだわったのかなど、テーマ設定までの過程とこれからの調査活動の予定を発表できるように助言しておく。 (評価：発表) ・ 発表者以外の児童には、発表者の意見を尊重しながら自分の意見を発言するように説明する。 <table border="1" style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(おおむね達成)</p> <p>話し合いの中で周囲の友だちと相談しながら発表者のテーマについて考えている。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>なかなか手を挙げて発言することができなくても、話し合いの中でのつぶやきや友達との相談のひそひそ話の内容を取り上げ考えを深めていることを認めあげる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(配慮を要する生徒)</p> <p>話し合いに積極的に参加することができない。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>前時の振り返りカードや前半のテーマの相談の様子などからつまずきのある生徒を把握し、事前に発表を聞くときのポイントを知らせておく。</p> </td> </tr> </table> <p>(評価：発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりに個人のテーマや考えが深められた過程を自分の言葉で書けるよう助言する。 (評価：振り返りカード) ・ 次回の予定を記入し、次時の学習の見通しがもてるようにする。 (評価：振り返りカード) 	<p>(おおむね達成)</p> <p>話し合いの中で周囲の友だちと相談しながら発表者のテーマについて考えている。</p>	<p>なかなか手を挙げて発言することができなくても、話し合いの中でのつぶやきや友達との相談のひそひそ話の内容を取り上げ考えを深めていることを認めあげる。</p>	<p>(配慮を要する生徒)</p> <p>話し合いに積極的に参加することができない。</p>	<p>前時の振り返りカードや前半のテーマの相談の様子などからつまずきのある生徒を把握し、事前に発表を聞くときのポイントを知らせておく。</p>
<p>(おおむね達成)</p> <p>話し合いの中で周囲の友だちと相談しながら発表者のテーマについて考えている。</p>	<p>なかなか手を挙げて発言することができなくても、話し合いの中でのつぶやきや友達との相談のひそひそ話の内容を取り上げ考えを深めていることを認めあげる。</p>				
<p>(配慮を要する生徒)</p> <p>話し合いに積極的に参加することができない。</p>	<p>前時の振り返りカードや前半のテーマの相談の様子などからつまずきのある生徒を把握し、事前に発表を聞くときのポイントを知らせておく。</p>				